

## 第2部 ▶ 13:30～ 特別企画

目覚めたとたん、一期一会の出会いが…

### と 1. 「寄りびと」上映&トークショー

#### ■上映

2011年度作品/30分/デジタルシネマ(HDV)/カラー/字幕スーパー/音響なし  
【製作】デフムービーエンターテインメント プロディア 【製作協力】墨田区聴覚障害者協会

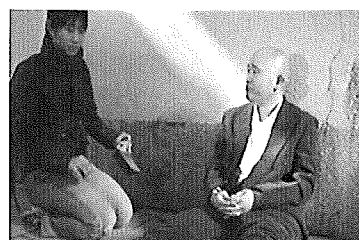
ろう映画制作グループ「デフムービーエンターテインメントプロディア」の第一作は、戦後間もない東京・隅田川の若いろう者たちの奮闘を描いた「小さな下町」でした。それに出演した善岡 修と直井貴司が10年ぶりにコンビを組み、「寄りびと」で難役に挑戦します。

「寄りびと」とは、頼みとして身を寄せるところや人のことをいう「寄る辺」をアレンジした造語です。江戸情緒残る隅田川と建設中の東京スカイツリーを背景に、災害時にも助け合う下町の人情と愛情をご覧ください。

#### <キャスト>

川上 勝 善岡 修  
中山 源助 直井 貴司

通り魔 板橋 光雄  
中山の母 雨森 郁美  
勝の姉 川本 倫子  
OL 中道 景子

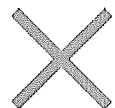


#### ■主演 善岡 修 × 監督 おおだて のぶひろ トークショー



よし おか おさむ  
善岡 修  
(デフ・パペットシアター・ひとみ代表)

1975年北海道生まれ。「小さな下町」で主演するなど、ろう者中心の映画制作や演劇活動を行う。2011年からNHK教育「ろうを生きる難聴を生きる」番組司会を務める。現在、デフ・パペットシアター・ひとみ「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール」「森と夜と世界の果てへの旅」「一寸法師」などの作品で全国巡演中。



#### おおだてのぶひろ

(デフムービーエンターテインメントプロディア代表及び監督)

1959年7月茨城県生まれ。神奈川県横浜市在住。独学でこれまでに代表作「迂路」など20本近くの作品を手掛けており、欧米の映画祭に多く参加している。2011年プロディア結成10周年を迎え、新作「寄りびと」を発表。目で聴くテレビのディレクターで「おおだて監督のコーナー」の番組がある。



### 2. 映像遊學 ~デジタルカメラによる映像作品づくり~

#### ◆おおだて監督からのメッセージ◆

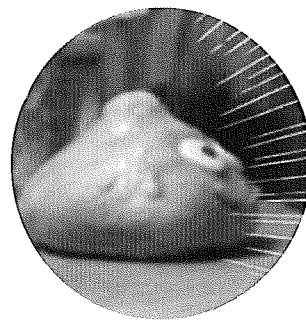
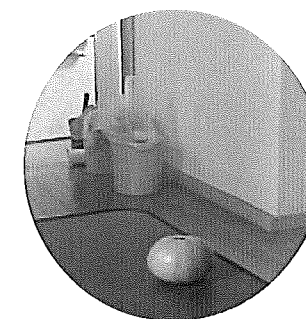
映像を撮るメディアと言えば、かつてはフィルムカメラやビデオカメラが主体でしたが、最近はデジタルカメラやスマートフォン、携帯電話などにムービー機能があります。今回は、低予算で撮影できるデジタル一眼レフカメラを使い、映像の面白さを探ってみました。「さかの白昼夢」のショートストーリーを仕立て、本格派映画のような鮮やかな色彩と、奥深さのある映像が実現しました。様々なカメラの違いや聴覚障害者としての映像とは何かを考えていきます。

#### ●デジカメ動画作品「さかの白昼夢」上映 ●メイキング解説

撮影日：2011年11月26日(土)  
ロケ地：嵯峨鳥居本・かぐや姫竹御殿・苔寺周辺・松尾大社・野宮神社・コミュニティ嵯峨野  
カメラ：Canon EOS 7D (シネスタイル仕様)  
動画モード：MOVデータ (1980×1080フルハイビジョン)  
編集ソフト：Adobe Premiere Pro CS3  
出演：前川恵子 時間：3分 制作：おおだてのぶひろ



## 第8回 さかの聴覚障害者映像祭



日時 2012.2/25(土) ▶ 10:00 ~ 16:00

会場 社会福祉法人 全国手話研修センター  
(コミュニティ嵯峨野) 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4

<主催> 社会福祉法人 全国手話研修センター

<後援> 財団法人 全日本ろうあ連盟

<協力> 特定非営利活動法人 CS障害者放送統一機構

# 第1部 ▶ 10:00～ 障害者が制作した 応募作品上映プログラム

司会 白石 弘 (目で聴くテレビ)

## 1. 『岡本家の戦い』 (フィクション/1分5秒/2011年)

制作者 <sup>おかもと</sup> 岡本 かわり (大阪府)

▼作品のテーマ: ロールプレイングゲーム

▼作品内容: ある日、岡本家に得体しれぬ物体が出現した! 戦い方はRP風に仕上げた。大阪らしさを盛り込みました。

▼コメント: 初めての作品です。その場の思いつきでアイデアが出たくらいですので、たいそうな物ではないのですが…。大阪人まる出しのRPです! 続きを見たくなるような…。

◆撮影機材: iPhone ◆編集ソフト: iMovie ◆音声: なし



岡本家の戦い

## 2. 『サスペンス「雨の日」』

(フィクション/4分39秒/2011年)

制作者 さとう <sup>まさし</sup> 正士 (岡山県)

▼作品内容: 雨の日、み~の家にやって来たぶ~。しかし、み~がいいため、新聞を読んでいた家の奥で物音が。音のする方に行くぶ~と、その後、ぶ~のいないことに気づいたみ~に起こる衝撃的な出来事とは…。

▼プロフィール: 高校でビデオクラブに入り、ビデオ編集を趣味としています。普段は、旅行などで撮った映像を編集する程度ですが、今回ドラマの様なもの初めて作ってみました。

▼コメント: ろう者のみ~と健聴者のぶ~です。遊び感覚でショートドラマを作ってみました。少しでも多くの人に楽しんでもらえれば幸いです。

◆撮影機材: iPhone4 ◆編集ソフト: Apple iMovie ◆音声: あり



サスペンス「雨の日」

## 3. 『カヲリ』 (フィクション/20分/2011年)

制作者 <sup>まつたに たくや</sup> 松谷 琢也 (奈良県)

▼作品のテーマ: 聾 デフ DEAF

▼作品内容: ある村に突然現われた謎の女! そして衝撃の結末は…!

▼プロフィール: 「コーダ」2008年、「20年目のプロポーズ」2009年、「八重山の手相師」2009年、「伝える」2010年他 WEBコミックてんてん「聾」連載中。単行本1巻発売中。

▼コメント: 目で聴くテレビの看板娘 岡本かわりさん出演映画です。また海外上映の予定もありますので、応援よろしくをお願いします。

◆撮影機材: SONY ◆編集ソフト: Ulead DVD Workshop 2 SE ◆音声: なし



カヲリ

## 4. 『とある若ろう者の恋活』

(フィクション/18分4秒/2011年)

制作者 <sup>と やま けん ちやう かく しやう がい しや ぎやう かい せい かん ぶ</sup> 富山県聴覚障害者協会青年部 <sup>ほりぐち たろう</sup> 代表者 堀口 太郎

▼作品のテーマ: 恋活に挑む男性のラブコメディ

▼作品内容: ある男性が恋活に挑む! キャワイイ女性をナンパする! 結果はいかにか!? お楽しみください。

▼コメント: はじめまして。まだまだです。よろしくをお願いします。ダメ元で応募したので期待しないでください!

◆撮影機材: SONY ◆編集ソフト: EDIUS Neo 2 ◆音声: なし



行きたい! 行きたい!

とある若ろう者の恋活

## 5. 『その人と、みかん。』 (フィクション/10分50秒/2012年)

制作者 <sup>いとう てつや</sup> 伊藤 徹也 (大阪府)

▼作品のテーマ: コミュニケーションと幸せの関係

▼作品内容: ある男のひととミカンが幸せな毎日を送っていました。ところがその幸せは少しずつ崩れていき…。

▼プロフィール: 某ゲーム会社に3DのCGデザイナーとして勤務。趣味で短編映画やアニメ作品、4コママンガの製作等を行っています。

▼コメント: 人ではなく、物を主人公にした作品が作ってみたいと以前から思っていました。長編では難しそうですが短編なら出来るかもしれないと思い、この作品を考えました。

◆撮影機材: Panasonic NV-GS400 ◆編集ソフト: Adobe AfterEffects ◆音声: なし



ある日、僕は聞いてみたのだ。

その人と、みかん。

## 6. 『The Chase ~おいかけっこ~』

(ろう学校作品/5分30秒/2011年)

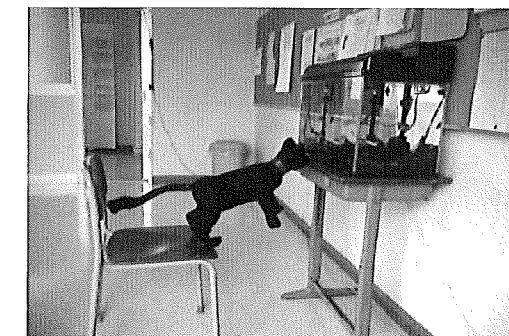
制作者 <sup>いわた なおき</sup> 岩田 直樹 (和歌山県立和歌山ろう学校)

▼作品のテーマ: 1コマ1コマ写真を撮ってつなげたバタバタアニメーションです。シナリオは「不思議の国のアリス」からヒントを得て考えました。ウサギではなく猫を追いかけて異次元の世界へ迷い込みます。ポップでコミカルな世界を表現しました。

▼作品内容: 1人の男の子が教室に入ると、机に謎の封筒があった。開けてみると猫の写真が…。不思議に思っていたら、突然写真に吸いこまれた!? 写真の中の世界で猫を追いかけることにした男の子は果たして元に戻れるのか?

▼コメント: 初めて、アニメを作りました。夏休みから考え始め、11月の文化祭に発表しました。今回の制作では猫も自分で作りました。1600枚もの写真をつなげて作った作品です。とても苦労しましたが自分にとってはなごみのある作品だと思いますので、楽しく鑑賞してください。

◆撮影機材: Panasonic LUMIX DMG-T25 ◆編集ソフト: Ulead ビデオスタジオ 8 ◆音声: あり



The Chase~おいかけっこ~

## 7. 『紡ぐ TUMUGU』 (フィクション/19分35秒/2012年)

制作者 <sup>しむら ぶたい はこ</sup> 手話舞台「箱!」(京都府) <sup>こにし きみこ</sup> 代表者 小西 貴美子

▼作品のテーマ: 「触手話」で紡ぐ心と微笑み

▼作品内容: 手話が見えなくなり外へ出ることをあきらめた盲ろう者が、友人とともに「触手話」を覚えたことで人と交流を取り戻し、元気に生きる姿を描く。

▼プロフィール: 2008年「手話刑事」さかの映像祭優秀賞受賞、2009年「サテンの女」同 佳作受賞、2010年「わる柿」同 出品。今回、手話映画4作目の挑戦。

▼コメント: 今年も去年につづき亀岡ロケをしました。又、触手話を初めて撮りました。字幕についても読みやすさを考えて、今回はたて書きにしました。よろしくをお願いします。

◆撮影機材: SONY HDR-AX2000 ◆編集ソフト: コーレル ビデオスタジオ ◆音声: あり



紡ぐ TUMUGU

# 第3部 ▶ 15:10～ 第1部 応募作品の 審査発表・表彰式・講評

- 【審査員紹介】
- 井上 泰治 (映画監督、主な作品に『水戸黄門』ほか)
  - 池田 和生 (元KBS京都 ディレクター)
  - 津田 正夫 (立命館大学特別任用教授、元NHKチーフプロデューサー)
  - 横地 由起子 (京都シネマ 支配人)
  - 濱島 薫 (社団法人京都府聴覚障害者協会 会長)
  - 橋本 英憲 (特定非営利活動法人京都市中途失聴・難聴者協会 理事)
  - 高田 英一 (特定非営利活動法人CS障害者放送統一機構 理事長)